



曾谷の風

学校教育目標『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち

市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

令和6年

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇氣」～3つのキを育てよう～

満開の桜の中、新たなスタート！

令和6年度が始まりました。52名の新一年生を迎え、2年生2学級50名、3年生2学級49名、4年生2学級59名、5年生2学級64名、6年生2学級52名、さわやか学級（特別支援学級）3名の全13学級、全校児童数329名でスタートです。

今年は、桜の開花が例年より遅く、満開の桜の中での入学式となりました。（春の嵐の中ではありませんが）。近年は温暖化等で桜の開花が早まっており、いつの間にか桜は卒業シーズンの花になっていましたが、かつては入学シーズンの花でした。今年の新入生は幸運だったと思います。

ご紹介が遅れました。今年度より曾谷小学校に着任いたしました、校長の田部井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、桜といえば、ご存じの通り、日本人が愛する花であり、国を代表する花です。そして桜は、よく比較をされる西洋のバラとは、色は派手ではなく、香りもほのか、咲いている期間も、花の散り方まで、あまりに対照的です。

そんな桜を思うとき、香りはほのかですが、その香りが朝の爽やかな風とともに漂う時、太陽が昇ってきて一日が始まるという、日本ならではの美しい情景を歌った歌もあります。



曾谷小学校は「曾谷」の地名のとおり谷地です。夜から朝にかけて、貝塚方面の丘、国府台の丘から、曾谷に向けて、爽やかな風が吹いていることでしょう。

奇しくも曾谷小学校は「東国分爽風学園」です。朝、桜の香りのする爽やかな風に吹かれながら、つくづく、いい学園名をつけたものだなあと感じています。それにあやかり、学校だよりの名前を「曾谷の風」とさせていただきました。

曾谷小学校の子どもたちを、この爽やかな風の吹く地で、風を受けるだけでなく、いずれ世界に向けて「風を起す」ことができる人に成長できるよう、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力を得ながら、教職員一同、全力で取り組んでまいります。

どうぞ、本校の教育にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

学校教育目標

『ゆめ あすから』 チャレンジする子どもたち
～みんなではぐくむ曾谷っ子～

- ・ゆめに向かって努力しよう
- ・あいさつに心をこめよう
- ・すすんで学習しよう
- ・からだをじょうぶにしよう

学校教育目標は、昨年度と同様「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち～みんなではぐくむ曾谷っ子～」としました。

「ゆめあすから」は、「夢を持ち、明日に向かって、今を努力する」という意味であり、一日一日の努力の積み重ねが大きな力になり、自分の夢に近づきます。

また、「チャレンジする子どもたち」とあるように、失敗を恐れず、自らの可能性を発揮しながら、やってみたいこと、やったことのない初めてのことにも積極的に挑戦できるよう、活躍の場をこれからも作っていきたいと思います。

曾谷っ子の合言葉

「元気・本気・勇氣 ～3つのキを育てよう～」

学校教育目標を具現化するための「合言葉」を新しく作りました。

それが、「元気・本気・勇氣 ～3つのキを育てよう～」です。夢や希望に向かっていくために、子どもたち自身がどうしていくべきか、子どもたちが自分で唱えることができるよう、覚えやすいように設定しました。昨日の始業式でも2～6年生には紹介しました。

これは、「知・徳・体」にも合致します。元気は体、本気は知、勇氣は徳となります。意味については、少しずつ朝会などでも話をしていきます。

イメージ図は右上の通りです。東国分爽風学園という土壌（曾谷小学校・教職員・保護者・地域住民・曾谷の地域・[稲越小学校](#)・[東国分中学校](#) など）から、まっすぐ大きく伸びる樹木。また、曾谷の「曾」の字には、「かさなる、ますます伸びる」という意味があるようです。ますます伸びるというのが、このイメージ図にも重なります。

校内の各所に掲示し、合言葉とともに、子どもたちが成長していけるよう願っております。



令和6年度 教職員構成

※ 職員名の詳細については、各家庭用のみ記載しております。